

町財政の健全化判断比率と資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき算出した健全化判断比率および資金不足比率は次のとおりです。

松田町において、実質公債費比率は元利償還金の増加により前年度に対し、0・2ポイント増の5・7%となりました。将来負担比率は基金の増加により前年度に対し、15・3ポイント減少の33・9%となりました。

令和3年度の町の指標は、全てにおいて基準を大幅に下回っていることから、財政の健全性は維持されていると判断されます。

指標	指標の説明	町の比率	早期健全化基準	財政再生基準	
健全化判断比率	実質赤字比率	標準的な収入に対する一般会計などの赤字の割合	— (—)	15%	20%
	連結実質赤字比率	標準的な収入に対する全会計の赤字・資金不足の割合	— (—)	20%	30%
	実質公債費比率	一般会計などが負担する町債の元利償還金の割合	5.7% (5.5%)	25%	35%
	将来負担比率	一般会計などが将来負担すべき町債の残高などの債務の割合	33.9% (49.2%)	350%	—
資金不足比率 (上水道・簡易水道・下水道事業)	事業規模に対する公営企業会計の資金不足の割合	— (—)	経営健全化基準 20%	—	

※赤字・資金不足が発生していない場合は、「—」と記載しています
 ※各比率が一定の基準を超えると、財政健全化計画の策定が必要になったり、町債の発行が制限されたりします
 ※（ ）内は前年度の数値です

令和4年度松田町一般会計補正予算

第3号の主な内容 既定の歳入歳出予算に2億4,604万円を増額 令和4年9月7日議決

歳入 (主なもの)

普通交付税	1億4,012万円
新型コロナウイルスワクチン接種に係る国庫支出金	2,715万円
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	1,826万円

歳出 (主なもの)

公共施設等整備基金積立金(※1)	8,000万円
新型コロナウイルスワクチン接種に要する経費	2,715万円
新型コロナウイルス感染症総合対策事業 (福祉施設運営費助成金、商工振興商品券発行事業補助金ほか)	1,831万円
新松田駅周辺整備基金積立金(※2)	6,000万円

令和4年度
一般会計予算総括表

補正前の予算額	補正額	補正(第3号)後の予算額
55億7,362万円	2億4,604万円	58億1,966万円

※金額は原則、千円単位を四捨五入し記載しています

※1 公共施設等整備基金 令和4年度末現在高見込額 1億6,000万円
 ※2 新松田駅周辺整備基金 令和4年度末現在高見込額 1億8,002万円